

たため、地域差を検討することにより、本調査の結果が居住地域の要因がもたらす影響であるのか、高齢者に共通した傾向であるのかを明らかにすることができるのではないかと考えられる。

引用文献

石原 治, 内藤佳津雄, 長嶋紀一 1992 主観的尺度に基づく心理的な側面を中心とした QOL 評価表作成の試み 老年社会科学 14, 43-51.

Lawton, M. P & Cohen, J 1974 The generality of housing impact on the well-being of older people, *Journal of Gerontology* 29(2), 194-204

矢富直美 1994 日本老人における老人用うつスケール (GDS) 短縮版の因子構造と項目特性の検討 老年社会科学 16 (1), 29-36.

6 外出・社会的活動の状況と日常記憶・認知の関係について

分担研究者 内藤佳津雄 (日本大学文理学部助教授)

研究要旨：調査対象とした地域における高齢者の外出や社会的活動の状況について検討し、日常認知・記憶機能の低下との関係を調べた。その結果、この地域において、外出頻度はかなり高く活動性が高いことが示されたが、一方で社会的活動への参加割合はそれほど高くなかった。外出・社会的活動の内容と日常認知・記憶機能の低下との関連については、参加状況よりもむしろ活動におけるさまざまな役割に対する自信感が認知・記憶機能に関係していた。本研究の結果は、社会的活動を促進することによって閉じこもり予防だけでなく、痴呆予防を図っていくための効果的なプログラムを作成するために、その内容の検討および評価指標の作成のための基礎資料となると考えられる。

【緒言】

閉じこもりとは、一般的に「1日をほとんど家の中やその周辺で過ごし、日常の行動範囲が極めて縮小した状態」と考えられる¹⁾。閉じこもりは疾病や障害によって生じる日常生活自立度の低下によっても生じると考えられるが、とくに目立った疾病や障害がなく日常生活は自立している場合でも行動的には閉じこもりに該当する場合がある。竹内は疾病や障害あるいは老化による体力低下などの「身体的要因」、意欲の低下などの「心理的要因」、住環境や気候風土さらには友人や仲間等の人間関係も含めた「環境要因」によって低活動状態が引き起こされ、閉じこもりにつながっていくことを指摘している²⁾。前者はもちろんのこと、後者の場合であっても、閉じこもりは廃用性の機能低下を引き起こし、寝たきりの原因となるだけでなく、痴呆を引き起こす原因となるといわれている²⁾。3つの要因のうち、とくに環境的要因について改善を図ること、すなわち高齢者の社会的交流の促進についての重要性が強調されており³⁾、そのため、介護予防対策の中で、閉じこもり解消や閉じこもり予防として、多くの市町村で「生きがい通所事業(デイ)」といった社会的活動・集団的活動への参加が実施されている。痴呆予防の観点からも、社会的活動への参加が有効であると考えられるが、そのためには、閉じこもり対策と言うだけでなく、

身体的機能や知的機能に有効に働きかけ痴呆予防や認知機能の維持・向上についても効果を発揮することが期待される。そのためには、痴呆予防や認知・記憶機能の低下の予防に対して効果的な社会的交流の方法や内容を明らかにしていく必要がある。

本研究は横断的研究であり、外出や社会参加の状況と日常認知・記憶の関係を検討した結果は、必ずしも日常認知・記憶の低下に対する因果関係を示すものではないが、1つの地域の高齢者の多くを対象としており、今後の検討の基礎とするために検討する価値は十分にあると考えられる。ここでは調査対象者となった地域の高齢者についての外出や社会的活動への参加の状況を第1に検討し、次にどのような外出や社会的活動の特徴が、日常認知、記憶機能の様々な内容のどのような部分に影響を及ぼす可能性があるのか検討する。その結果は、本研究における痴呆予防に資する日常生活上の支援を検討する上で、社会的活動や外出行動についての指標化を図るための基礎資料とする。

【方法】

対象者

東京都世田谷区、豪徳寺、梅丘、代田地区に在住の65歳以上80歳以下の高齢者3555名を対象とした訪問調査を行ない、2358名の調査票を回収した(66.3%)。うち、2332名が分析対象となった。

評価項目

1) 日常認知・記憶の項目は、因子分析の結果から、①表情認知(表情の喜怒哀楽の認識)、②記憶(符号化、貯蔵、検索を含む)、③最新情報機器の使用(インターネットなどの利用意向)、④展望的記憶(約束の記憶など)、⑤環境認知(駅や標識に関する項目)、⑥自伝的記憶(自分の遠い過去の記憶)、⑦記憶補助(手帳やカレンダーの使用など)の7つの分野に分けられたので、各因子ごとの因子得点を算出し、指標とした。

2) 外出状況については、外出の回数(1週あたり)に加え、交通機関を使った一人での外出が可能であるか、はじめての場所への計画的な旅行が可能であるか、外出先・目的の違い(仕事、通院、買い物、散歩、趣味、デイホーム、町会など、運動、友人・知人、子供・親戚)について取り上げた。

3) 社会的活動については、グループ活動への参加状況に加え、積極性の

高い活動を表す内容としてリーダーとしての活動をしているか、世話係や会計係としての活動をしているか、ということを取り上げた。

4) その他に認知・記憶機能に影響を及ぼすと考えられる以下の要因(およびその指標)についても解析対象変数に加えた。1) 教育経験(教育年数), 2) 身体的状況(自覚健康度), 3) 性, 4) 年齢(年齢群: 65~69歳, 70~74歳, 75歳以上)

【結果・考察】

1) 外出・社会的活動の状況

A 外出頻度(表1)

外出頻度が週1回以下の者は、最も割合の多い女性75歳以上でも34名(8.8%)であり、ほぼ毎日外出している者がどの性・年齢層も60%を越えていた。本研究の対象者は外出頻度について非常に良好と言えよう。

B グループ活動への参加状況(表2)

社会的活動への参加は、最も多い女性65-69歳で174名(30.9%)であり、全体的に20%代程度に留まっていた。とくに、男性75歳以上では19.3%と最も低くなっており、男性・後期高齢者の社会的活動への参加がとくに課題といえよう。

C リーダーとして行事などの運営ができるか(表3)

この質問では、本人の能力や人望や実際のリーダー的行動の有無を聞いているわけではなく、リーダー的役割を担える可能性を質問した項目である。したがって、リーダーシップに関する本人の社会的な役割に関する有能感や自信を強く反映していると考えられる。この質問に対しては、男性で60%以上が肯定しており、女性はそれに比べるとかなり低い結果(65-69歳で46.2%)となった。

D 会の世話係や会計係ができるか(表4)

この質問では、集団における実務的な役割が担える可能性について聞いたものであり、前問同様、本人の社会的な役割に関する有能感や自信を強く反映していると考えられる。ただし、非常に責任が重く、社交性を要求されるリーダーとしてではなく、集団の中で、裏方的な役割を果たせる自

信の有無が反映されている。結果は、男性ではかなり肯定的であり、65-69歳では80%が肯定していた。しかし、年齢の低下とともにリーダーに関する質問と同程度に低下しており、加齢の影響を大きく受けているといえる。女性では男性より肯定する割合が低かったが、リーダーに比べるとかなり高い割合であった。

E バス・電車を使ってひとりで外出できるか（表5）

全体的に「できる」という回答が概ね90%以上となっておりできるという回答が圧倒であり、ほとんど問題はないようであった。しかし、女性75歳以上ではできないという回答が14.7%を占めており、女性後期高齢者への外出支援の必要性が課題であることが窺われた。

F 初めての場所に1人で計画を立てて旅行できるか（表6）

男性では概ね80%程度以上が「できる」と回答しており、自信の高さが示された。女性はこれに比べると低く、65-69歳で61.5%、75歳以上では41.6%であった。自信の高さが実際の行動につながるわけではないが、外出に対する積極的姿勢は反映していると考えられる。

表1 性年齢別の外出頻度

年齢群	男 性			女 性		
	65-69	70-74	75-80	65-69	70-74	75-80
ほとんど毎日	309 (79.8%)	237 (76.0%)	148 (66.4%)	452 (80.3%)	336 (73.5%)	246 (63.6%)
週2, 3日	58 (15.0%)	50 (16.0%)	60 (26.9%)	101 (17.9%)	106 (23.2%)	107 (27.6%)
週1日程度	12 (3.1%)	15 (4.8%)	4 (1.8%)	7 (1.2%)	9 (2.0%)	15 (3.9%)
週1日より少ない	8 (2.1%)	10 (3.2%)	11 (4.9%)	3 (0.5%)	6 (1.3%)	19 (4.9%)
合計	387	312	223	563	457	387

表2 性年齢別のグループ活動への参加状況

年齢群	男 性			女 性		
	65-69	70-74	75-80	65-69	70-74	75-80
参加している	101 (26.0%)	90 (28.8%)	43 (19.3%)	174 (30.9%)	127 (27.7%)	97 (25.1%)
参加していない	287 (74.0%)	222 (71.2%)	180 (80.7%)	389 (69.1%)	332 (72.3%)	290 (74.9%)
合計	388	312	223	563	459	387

表3 「リーダーとして行事等の運営ができる」に対する回答

年齢群	男 性			女 性		
	65-69	70-74	75-80	65-69	70-74	75-80
できる	288 (74.2%)	209 (67.0%)	140 (62.8%)	260 (46.2%)	177 (38.6%)	100 (25.8%)
できない	100 (25.8%)	103 (33.0%)	83 (37.2%)	303 (53.8%)	282 (61.4%)	287 (74.2%)
合計	388	312	223	563	459	387

表4 「会の世話係や会計係ができる」に対する回答

年齢群	男 性			女 性		
	65-69	70-74	75-80	65-69	70-74	75-80
できる	311 (80.2%)	231 (74.0%)	140 (62.8%)	364 (64.7%)	232 (50.5%)	153 (39.5%)
できない	77 (19.8%)	81 (26.0%)	83 (37.2%)	199 (35.3%)	227 (49.5%)	234 (60.5%)
合計	388	312	223	563	459	387

表5 「バス、電車を使って外出できる」への回答

年齢群	男 性			女 性		
	65-69	70-74	75-80	65-69	70-74	75-80
できる	275 (95.5%)	295 (94.6%)	206 (92.4%)	539 (95.7%)	434 (94.6%)	330 (85.3%)
できない	13 (4.5%)	17 (5.4%)	17 (7.6%)	24 (4.3%)	25 (5.4%)	57 (14.7%)
合計	288	312	223	563	459	387

表6 「初めての場所に一人で計画を立てて旅行できる」への回答

年齢群	男 性			女 性		
	65-69	70-74	75-80	65-69	70-74	75-80
できる	349 (89.9%)	253 (81.1%)	172 (77.1%)	346 (61.5%)	239 (52.1%)	161 (41.6%)
できない	39 (10.1%)	59 (18.9%)	51 (22.9%)	217 (38.5%)	220 (47.9%)	226 (58.4%)
合計	388	312	223	563	459	387

表7 外出先に対する回答

年齢群	男 性			女 性		
	65-69	70-74	75-80	65-69	70-74	75-80
仕事	203 (52.3%)	102 (32.7%)	57 (25.6%)	118 (21.0%)	67 (14.6%)	27 (7.0%)
通院	94 (24.2%)	110 (35.3%)	95 (42.6%)	198 (35.2%)	224 (48.8%)	232 (59.9%)
買い物	228 (58.8%)	189 (60.6%)	127 (57.0%)	512 (90.9%)	410 (89.3%)	326 (84.2%)
散歩	187 (48.2%)	163 (52.2%)	129 (57.8%)	230 (40.9%)	150 (32.7%)	140 (36.2%)
趣味	172 (44.3%)	117 (37.5%)	59 (26.5%)	252 (44.8%)	197 (42.9%)	120 (31.0%)
町会・老人クラブ	14 (3.6%)	30 (9.6%)	17 (7.6%)	22 (3.9%)	33 (7.2%)	33 (8.5%)
運動	113 (29.1%)	61 (19.6%)	36 (16.1%)	117 (20.8%)	75 (16.3%)	46 (11.9%)
友人・知人	78 (20.1%)	53 (17.0%)	32 (14.3%)	193 (34.3%)	121 (26.4%)	97 (25.1%)
子供・親戚	44 (11.3%)	34 (10.9%)	21 (9.4%)	111 (19.7%)	78 (17.0%)	38 (9.8%)
人数	388	312	223	563	459	387

2) 日常認知・記憶機能との関係

日常認知・記憶機能の7つの因子について、因子得点を算出した。その分布において得点の下位から10%以内の者を低得点群とし、認知記憶機能の低さと関係がある要因を検討した。

要因としては、外出、社会的活動に関する項目に性、年齢、教育年数、自覚健康度をコントロール要因として加えて独立変数とし、認知・記憶機能の各因子について低得点群と高得点群に2値化した値を従属変数として、ロジスティック回帰分析を行った。なお、モデルを単純化するために、外出先の違いによる効果と社会的活動の能力による効果を分け、別々に分析を行った。

A 外出先に関する内容 (表8～14)

ロジスティック回帰分析によって有意なオッズ比が得られた項目は認知・記憶機能の種類によって異なっていた。有意なオッズ比が得られた項目は以下の通りである。

表情認知：なし

記憶：通院，自覚健康度悪，教育年数短い

最新情報機器の利用：男性，教育年数長い

展望的記憶：自覚健康度悪い，町会への外出

環境認知：仕事での外出をしていない

自伝的記憶：女性，自覚健康度悪い

記憶補助：散歩をしていない

以上のように外出先については、認知・記憶機能の低得点に関係しているのはごく少数であった。また、今回の調査対象者では単なる外出頻度の効果はほとんど認められなかった。外出頻度が非常に高い方に分布していることも影響していると考えられるため、別の対象者で関係を検討することが必要である。

教育年数が長い方が低得点に寄与するという直感に反する結果も表れており、この部分は他の交絡要因も合わせて再検討が必要であろう。

B 社会的活動に関する内容 (表15～21)

ロジスティック回帰分析によって有意なオッズ比が得られた項目は認知・記憶機能の種類によって異なっていた。

有意なオッズ比が得られた項目は以下の通りであった。

表情認知：なし

記憶：リーダーできない，世話係できない，計画的旅行できない，自覚健康度悪い

最新情報機器の利用：男性，教育年数長い

展望的記憶：グループ活動への不参加，リーダーできない，自覚健康度悪い

環境認知：グループ活動への参加，世話係できない，交通機関利用できない，計画的旅行できない

自伝的記憶：女性，自覚健康度悪い，教育年数長い

記憶補助：世話係できる

社会的活動については，多くの認知・記憶機能に対して，様々な要因において有意なオッズ比が認められた。とくに，記憶，展望的記憶，環境認知については社会活動に対する本人の意欲が関係していることが示唆された。

前述のように今回の調査法は横断的方法であるため，今回認められた要因が認知・記憶機能の低下に対する原因であるとは言えない。さらに縦断的研究によって確認をする必要があるが，今回の結果はそのための指標化に役立つものであった。また，記憶と命名された因子には記憶の各過程（符号化・貯蔵・検索，あるいは長期記憶，短期記憶）が混在しており，これを分離した上で影響を及ぼす要因を検討する必要がある。そのためには，今回用いたような認知・記憶機能に対する自己評価だけでは過程を分離することができないため，パフォーマンスを伴うデータを取得する必要があると考えられる。

文献

- 1) 新開省二 「閉じこもり」アセスメント表の作成とその活用法 生活習慣・生活環境アセスメントマニュアル(厚生省老人保健福祉局老人保健課)，2000年
- 2) 竹内孝仁 通所ケア学 医歯薬出版，1996年
- 3) 竹内孝仁 閉じこもり症候群とその予防は？ 高齢者を知る事典（介護・医療・予防研究会編） 厚生科学研究所，2000年

表8 表情認知に対する重回帰分析(外出)

	標準偏回帰係数	オッズ比	95%下限	95%上限
70歳以上	-0.053	0.823	0.575	1.171
75歳以上	0.045	1.208	0.812	1.793
性別(女性)	-0.017	0.941	0.659	1.350
外出 週2回未満	-0.020	0.837	0.346	1.811
外出 毎日ではない	-0.001	0.997	0.680	1.435
自覚健康度	-0.019	0.956	0.774	1.176
教育年数	-0.039	0.978	0.929	1.030
仕事	0.021	1.092	0.751	1.570
通院	0.016	1.059	0.761	1.470
買い物	-0.008	0.967	0.663	1.429
散歩	0.000	0.999	0.730	1.363
趣味	0.042	1.166	0.853	1.590
町会・老人クラブ	-0.013	0.912	0.467	1.631
運動	0.023	1.110	0.760	1.594
友人・知人	-0.089	0.690	0.466	1.000
子供・親戚	-0.027	0.870	0.537	1.355

表9 記憶に対する重回帰分析(外出)

	標準偏回帰係数	オッズ比	95%下限	95%上限
70歳以上	0.049	1.196	0.826	1.733
75歳以上	0.036	1.160	0.799	1.681
性別(女性)	-0.007	0.974	0.674	1.417
外出 週2回未満	0.032	1.317	0.645	2.561
外出 毎日ではない	0.054	1.251	0.871	1.776
自覚健康度	0.210	1.641	1.347	1.999 *
教育年数	-0.099	0.945	0.896	0.998 *
仕事	-0.042	0.837	0.537	1.274
通院	0.113	1.516	1.093	2.107 *
買い物	0.074	1.380	0.906	2.149
散歩	0.015	1.058	0.769	1.454
趣味	0.071	1.302	0.941	1.798
町会・老人クラブ	-0.030	0.800	0.407	1.443
運動	0.064	1.341	0.907	1.951
友人・知人	-0.037	0.856	0.585	1.235
子供・親戚	0.048	1.284	0.829	1.942

表10 最新情報機器の利用に対する重回帰分析(外出)

	標準偏回帰係数	オッズ比	95%下限	95%上限
70歳以上	-0.061	0.798	0.562	1.124
75歳以上	-0.059	0.783	0.502	1.204
性別(女性)	-0.105	0.678	0.470	0.978 *
外出 週2回未満	-0.007	0.937	0.363	2.127
外出 毎日ではない	-0.018	0.927	0.618	1.360
自覚健康度	0.026	1.064	0.857	1.316
教育年数	0.137	1.081	1.026	1.140 *
仕事	-0.005	0.981	0.681	1.400
通院	-0.041	0.858	0.608	1.203
買い物	-0.042	0.833	0.579	1.209
散歩	0.028	1.108	0.809	1.516
趣味	0.023	1.089	0.795	1.488
町会・老人クラブ	0.055	1.502	0.842	2.535
運動	0.031	1.153	0.801	1.636
友人・知人	0.028	1.122	0.783	1.589
子供・親戚	0.065	1.399	0.922	2.079

表11 展望的記憶に対する重回帰分析(外出)

	標準偏回帰係数	オッズ比	95%下限	95%上限
70歳以上	0.061	1.250	0.878	1.782
75歳以上	-0.008	0.969	0.663	1.409
性別(女性)	-0.045	0.846	0.591	1.216
外出 週2回未満	0.030	1.301	0.595	2.663
外出 毎日ではない	-0.065	0.764	0.511	1.116
自覚健康度	0.095	1.252	1.023	1.529 *
教育年数	-0.025	0.986	0.937	1.039
仕事	0.048	1.221	0.837	1.762
通院	0.035	1.138	0.821	1.575
買い物	0.007	1.031	0.704	1.528
散歩	-0.037	0.873	0.636	1.195
趣味	-0.017	0.940	0.681	1.290
町会・老人クラブ	0.076	1.748	1.034	2.833 *
運動	-0.020	0.911	0.605	1.340
友人・知人	0.002	1.006	0.694	1.438
子供・親戚	-0.022	0.892	0.552	1.387

表12 環境認知に対する重回帰分析(外出)

	標準偏回帰係数	オッズ比	95%下限	95%上限
70歳以上	0.040	1.160	0.801	1.680
75歳以上	0.048	1.222	0.843	1.770
性別(女性)	0.095	1.421	0.872	2.101
外出 週2回未満	0.042	1.446	0.726	2.777
外出 毎日ではない	-0.028	0.891	0.608	1.282
自覚健康度	0.061	1.155	0.945	1.409
教育年数	-0.063	0.965	0.913	1.019
仕事	-0.136	0.566	0.354	0.877 *
通院	0.065	1.273	0.919	1.763
買い物	-0.069	0.740	0.500	1.110
散歩	-0.054	0.822	0.595	1.131
趣味	-0.077	0.752	0.537	1.044
町会・老人クラブ	-0.048	0.704	0.337	1.317
運動	-0.009	0.961	0.627	1.434
友人・知人	0.018	1.076	0.750	1.526
子供・親戚	0.042	1.246	0.801	1.887

表13 自伝的記憶に対する重回帰分析(外出)

	標準偏回帰係数	オッズ比	95%下限	95%上限
70歳以上	0.085	1.368	0.952	1.970
75歳以上	0.020	1.089	0.751	1.572
性別(女性)	0.146	1.718	1.171	2.553 *
外出 週2回未満	0.018	1.175	0.521	2.448
外出 毎日ではない	-0.033	0.871	0.593	1.258
自覚健康度	0.087	1.229	1.005	1.500 *
教育年数	0.064	1.037	0.981	1.096
仕事	-0.065	0.764	0.496	1.150
通院	0.080	1.345	0.974	1.859
買い物	-0.015	0.938	0.627	1.429
散歩	0.029	1.112	0.812	1.520
趣味	0.000	1.001	0.727	1.374
町会・老人クラブ	0.035	1.296	0.729	2.178
運動	0.015	1.070	0.721	1.557
友人・知人	-0.034	0.866	0.599	1.234
子供・親戚	0.062	1.383	0.910	2.058

表14 記憶補助に対する重回帰分析(外出)

	標準偏回帰係数	オッズ比	95%下限	95%上限
70歳以上	0.024	1.091	0.776	1.531
75歳以上	-0.018	0.927	0.626	1.363
性別(女性)	-0.050	0.832	0.586	1.185
外出 週2回未満	0.036	1.366	0.648	2.704
外出 毎日ではない	0.030	1.133	0.783	1.614
自覚健康度	-0.015	0.966	0.784	1.186
教育年数	0.044	1.026	0.975	1.079
仕事	0.034	1.151	0.803	1.634
通院	-0.001	0.997	0.721	1.374
買い物	0.039	1.185	0.815	1.747
散歩	-0.090	0.720	0.525	0.983 *
趣味	0.081	1.351	0.997	1.830
町会・老人クラブ	0.017	1.133	0.619	1.939
運動	0.052	1.270	0.887	1.792
友人・知人	0.010	1.042	0.732	1.465
子供・親戚	-0.012	0.939	0.600	1.426

備考：外出に関するロジスティック回帰分析について

- 1) 目的変数については低得点が生起する確率を対象として回帰分析を行った。
- 2) 性別については、男性 = 1，女性 = 2 としたので，女性がより低得点の場合に回帰係数の符号が+となる。
- 3) 自覚健康度は点数が高いほど健康度が低い
- 4) 教育年数は実数のため，点数が高いほど年数が長い
- 5) 外出先はその外出先を選んだ場合に1，そうでなければ0を付与しているので，その外出を選択した場合により低得点であれば回帰係数の符号は+となる。
- 6) 表中の*マークはオッズ比についての有意性（5%水準：95%信頼限界に基づく）を示す。

表15 表情認知に対する重回帰分析(社会的活動)

	標準偏回帰係数	オッズ比	下限	上限
70歳以上	-0.052	0.825	0.579	1.169
75歳以上	0.043	1.195	0.804	1.771
性別(女性)	-0.027	0.906	0.644	1.278
外出 週2回未満	-0.035	0.739	0.305	1.599
外出 毎日ではない	-0.003	0.989	0.676	1.421
グループ活動 不参加	-0.056	0.798	0.578	1.109
リーダーではない	-0.088	0.728	0.485	1.082
世話係ではない	0.033	0.113	0.749	1.706
交通機関利用できない	0.071	1.727	0.921	3.097
1人で計画的に旅行できない	0.022	1.090	0.753	1.567
自覚健康度	-0.019	0.955	0.778	1.168
教育年数	-0.032	0.982	0.932	1.035

表16 記憶に対する重回帰分析(社会的活動)

	標準偏回帰係数	オッズ比	下限	上限
70歳以上	0.046	1.184	0.820	1.713
75歳以上	0.008	1.036	0.713	1.501
性別(女性)	-0.044	0.850	0.593	1.226
外出 週2回未満	-0.004	0.962	0.470	1.874
外出 毎日ではない	0.049	1.229	0.856	1.743
グループ活動 不参加	-0.034	0.872	0.607	1.266
リーダーではない	0.130	1.603	1.050	2.452 *
世話係ではない	0.156	1.798	1.217	1.678 *
交通機関利用できない	-0.068	0.592	0.311	1.070
1人で計画的に旅行できない	0.126	1.624	1.151	2.293 *
自覚健康度	0.195	1.586	1.311	1.919 *
教育年数	-0.015	0.992	0.940	1.047

表17 最新情報機器の利用に対する重回帰分析(社会的活動)

	標準偏回帰係数	オッズ比	下限	上限
70歳以上	-0.069	0.777	0.551	1.088
75歳以上	-0.068	0.752	0.484	1.151
性別(女性)	-0.128	0.622	0.438	0.882 *
外出 週2回未満	-0.010	0.915	0.355	2.077
外出 毎日ではない	-0.025	0.901	0.602	1.316
グループ活動 不参加	0.010	1.040	0.743	1.474
リーダーではない	-0.040	0.864	0.576	1.286
世話係ではない	0.019	1.076	0.709	1.632
交通機関利用できない	-0.042	0.825	0.306	1.517
1人で計画的に旅行できない	0.085	1.388	0.848	2.019
自覚健康度	0.007	1.016	0.825	1.246
教育年数	0.152	1.090	1.035	1.150 *

表18 展望的記憶に対する重回帰分析(社会的活動)

	標準偏回帰係数	オッズ比	下限	上限
70歳以上	0.061	1.254	0.884	1.779
75歳以上	-0.009	0.962	0.659	1.398
性別(女性)	-0.090	0.716	0.509	1.010
外出 週2回未満	0.029	1.289	0.588	2.643
外出 毎日ではない	-0.051	0.809	0.543	1.178
グループ活動 不参加	-0.136	0.578	0.418	0.803 *
リーダーではない	0.111	1.493	1.004	2.215 *
世話係ではない	0.058	1.242	0.843	1.839
交通機関利用できない	-0.035	0.765	0.371	1.463
1人で計画的に旅行できない	0.010	1.041	0.728	1.480
自覚健康度	0.093	1.247	1.025	1.513 *
教育年数	0.003	1.002	0.951	1.055

表19 環境認知に対する重回帰分析(社会的活動)

	標準偏回帰係数	オッズ比	下限	上限
70歳以上	0.349	1.137	0.784	1.650
75歳以上	0.029	1.130	0.777	1.641
性別(女性)	0.023	1.116	0.773	1.628
外出 週2回未満	0.024	1.230	0.610	2.385
外出 毎日ではない	-0.023	0.910	0.617	1.317
グループ活動 不参加	-0.110	0.641	0.452	0.914 *
リーダーではない	0.091	1.393	0.906	2.145
世話係ではない	0.222	2.309	1.546	3.485 *
交通機関利用できない	0.071	1.730	1.013	2.892 *
1人で計画的に旅行できない	0.118	1.573	1.109	2.230 *
自覚健康度	0.027	1.067	0.874	1.297
教育年数	-0.004	0.998	0.945	1.054

表20 自伝的記憶に対する重回帰分析(社会的活動)

	標準偏回帰係数	オッズ比	下限	上限
70歳以上	0.093	1.410	0.984	2.024
75歳以上	0.009	1.038	0.717	1.497
性別(女性)	0.111	1.507	1.044	2.199 *
外出 週2回未満	-0.014	0.884	0.389	1.853
外出 毎日ではない	-0.035	0.863	0.587	1.246
グループ活動 不参加	-0.081	0.722	0.517	1.017
リーダーではない	0.043	1.169	0.780	1.746
世話係ではない	0.094	1.423	0.964	2.113
交通機関利用できない	0.039	1.329	0.730	2.329
1人で計画的に旅行できない	0.082	1.370	0.967	1.937
自覚健康度	0.085	1.222	1.005	1.481 *
教育年数	0.098	1.057	1.001	1.117 *

表21 記憶補助に対する重回帰分析(社会的活動)

	標準偏回帰係数	オッズ比	下限	上限
70歳以上	-0.028	1.111	0.795	1.551
75歳以上	0.019	0.919	0.621	1.348
性別(女性)	-0.005	1.020	0.731	1.428
外出 週2回未満	-0.043	1.419	0.673	2.814
外出 毎日ではない	-0.040	1.177	0.816	1.671
グループ活動 不参加	0.011	0.956	0.695	1.326
リーダーではない	0.009	0.782	0.664	1.410
世話係ではない	0.149	0.568	0.374	0.858 *
交通機関利用できない	-0.027	0.831	0.423	1.863
1人で計画的に旅行できない	0.037	0.855	0.586	1.235
自覚健康度	-0.007	1.011	0.825	1.234
教育年数	-0.034	1.019	0.968	1.073

備考：社会的活動に関するロジスティック回帰分析について

- 1) 目的変数については低得点が生起する確率を対象として回帰分析を行った。
- 2) 性別については、男性 = 1, 女性 = 2 としたので、女性がより低得点の場合に回帰係数の符号が+となる。
- 3) 自覚健康度は点数が高いほど健康度が低い
- 4) 教育年数は実数のため、点数が高いほど年数が長い
- 5) 社会的活動に関する項目では、その項目に否定的である場合（～できない）に1点、肯定的な場合（～できる）に0点を付与したので、否定的である場合により低得点であれば回帰係数の符号は+になる。
- 6) 表中の*マークはオッズ比についての有意性（5%水準：95%信頼限界に基づく）を示す。

資料

痴ほう予防に関する基礎調査

2001年 11～12月

世田谷区

(財) 東京都老人総合研究所

日本大学文理学部

人の健康と老化には、生活習慣、これまでの活動歴（学歴、職歴）、趣味・余暇活動、社会活動性などさまざまな要因が関係していると言われております。そのため、この調査では、地域の皆様にこれらの項目についてご質問します。

質問事項によっては、かなり立ち入ったことを尋ねることもございますが、お答えにくい質問には無理にお答えいただく必要はございません。途中お疲れになった場合、遠慮なくおっしゃってください。お答えいただいた内容については、ご本人の意思に反して外部に漏れたり、また特定の個人名が識別され、ご迷惑をおかけするようなことは決してございません。是非、調査にご協力下さい。よろしくお願いいたします。

さっそくですが、ご自身のことについてお尋ねしますので、よろしくお願いいたします。

問1. 生年月日と年齢を教えてください。

1. 明治 2. 大正 3. 昭和 () 年 () 月 () 日
年齢： 満 () 歳 性別： 1. 男性 2. 女性

問2. 現在、あなたは、収入が得られる仕事をしていますか。家族従業を含みます。

(現在していない場合) 以前はしていましたか。

1. 仕事をしている 2. 以前はしていたが今はしていない 3. 仕事をしたことがない

問3. 最も長くついていた職業はどれですか。調査員注：職業コード表呈示

1. 職業コード表から当てはまる職業 ()

2. 具体的な職業名(調査員注：対象者に直接尋ねる)【 】